

# デング熱



蚊に刺されない  
蚊を増やさせない

◆ 主に熱帯・亜熱帯（特にアジア・オセアニア・中南米）に広く分布する、蚊が媒介するウイルス感染症です。

◆ 日本国内での発生状況 Q&A

海外の流行地で感染し帰国した症例が近年では毎年 200 名前後報告されています。

日本国内で感染した症例は、2014 年 8 月以降、東京都立代々木公園に関連する患者の発生が報告されています。

## 渡航中の注意点

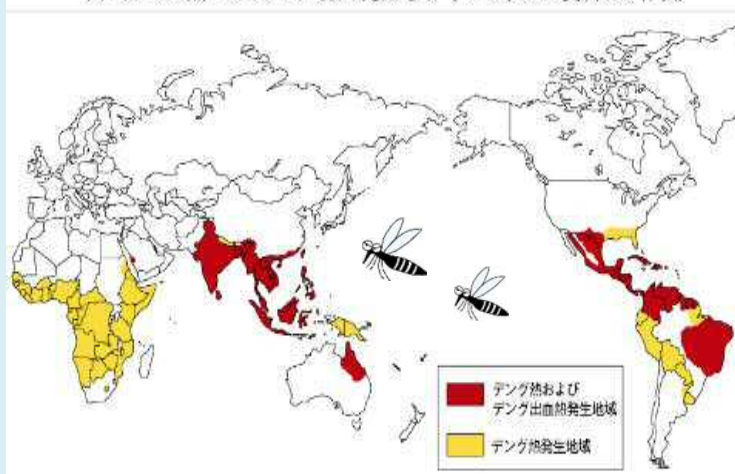
肌をできるだけ覆い、虫よけスプレーを正しく使って、蚊に刺されないようにすることが基本です。

(裸足でサンダル履きを避ける。また、白など薄い色の長袖・長ズボン服装が推奨されています)

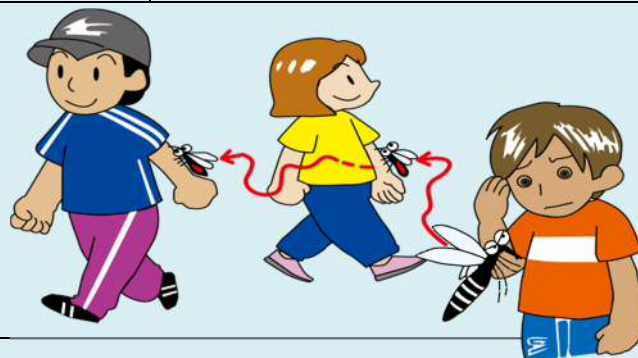
忌避剤：防虫対策として有効性が証明されている ①ディート：小児に対して使用制限がある

②イカリジン等

図1. デング熱・デング出血熱の発生地域 (WHO, CDC資料より作製)



病原体	デングウイルス
感染経路	蚊による媒介
潜伏期	2～14 日（多くは 3～7 日）
主な媒介蚊	ヒトスジシマカ、ネッタシマカ (ネッタシマカは日本では生息していません)



症 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染してから 3～7 日後に突然頭痛、筋肉痛、関節痛を伴う高熱が出ます。</li> <li>・発症後、3～4 日後に発疹が体幹から出始めて手足に広がります。</li> <li>・症状は 1 週間程度で消え、後遺症もなく回復します。</li> </ul>
国内の拡大防止	<p>ヒトスジシマカは、小さな水たまりに卵を産み付けます。以下のような場所等があれば、確認し発生源をなくしましょう。</p> <p>① 屋外に放置された空き缶やペットボトル 空きビン等 ・植木鉢の水受け皿          ・雨水ますや側溝 ・ビニールシート（ブルーシート）のたるみ ・古タイヤの中          ・お墓の花立</p> <p>② 蚊の潜む場所になるヤブや草むら</p>

